

争議団員が諸月三十日より昼食、炊出し開始以
来成績良好ナリニ鑑み、在月九日より更に夕食
ヲ提供給スル事トシ、幹部小松原光太郎、鈴木一
支ノ兩名ハ引續キ応援シ、極力結束懇切ニシテ、
リ一面會社組織、演説會ヲ開催スルヲ格別ノ事
致シテ

二、演説會ノ状況

争議團ニテハ去月十日午後七時より高田町字千
本之里光會館ニ於テ東京深布靴彈演説會ヲ
開催セリ、参加者、同業合同労働組合、高田
綿糸工、落合、亀ノ谷支那員並ニ近江民等
約二百五十名ニシテ、争議団員岩田幸信、岡

宣シ次ヲ内田助五郎、外十二名ノ演説アリ、
此方小松原光太郎ノ論旨、矯激ニ亘リタルヲ以テ
臨場警察官ヨリ中止ヲ命ジタル外、孰レモ「結束
シテ資本家ニ對抗セサル可カラズ」ト激励スルニア
リテ同十時散會セリ

三、會社側ノ対策

會社ハ職工罷業後、事務員及支店職等ヲシテ整
理作業ニ取リ付ケ居ルニ、今回大阪福田深工場ノ
職工六名、内女一名一ヲ雇入ル、事トシ去月八日
一同ノ到着ヲ待テ工場内ニ赴臥セシメ、作業ニ從
事セシメ、近頃臨時職工ヲ募集シ、操業復旧スル
模様ナリ